

3-1-6 DC 電源ユニット (図-6)

名 称	形 式	機 能
④⑧ DC 11 ~ 30 V	4P コネクター	電源の入力コネクターです。 付属の電源ケーブルを使用して電源の接続を行ってください。
④⑨ ALARM ADJ	ボリューム	電源への入力レベルが規定値より低下した場合の警報ブザーの動作レベルを調整するボリュームです。工場出荷時は約 11 V に設定されています。
⑤⑩ GND		電源の接地端子です。 この端子はデータレコード本体と同電位になっています。
⑤⑪ BZ ON / OFF	スライド スイッチ	電源電圧低下警報ブザーの動作を選択します ON : 警報ブザーは動作します。 OFF : 警報ブザーが切断されます。
⑤⑫ FUSE		電源ユニットの過電流防止用のヒューズです ヒューズ交換の場合には表示の容量のヒューズを御使用下さい。

REV.

ECN.

No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

16 頁

葉中

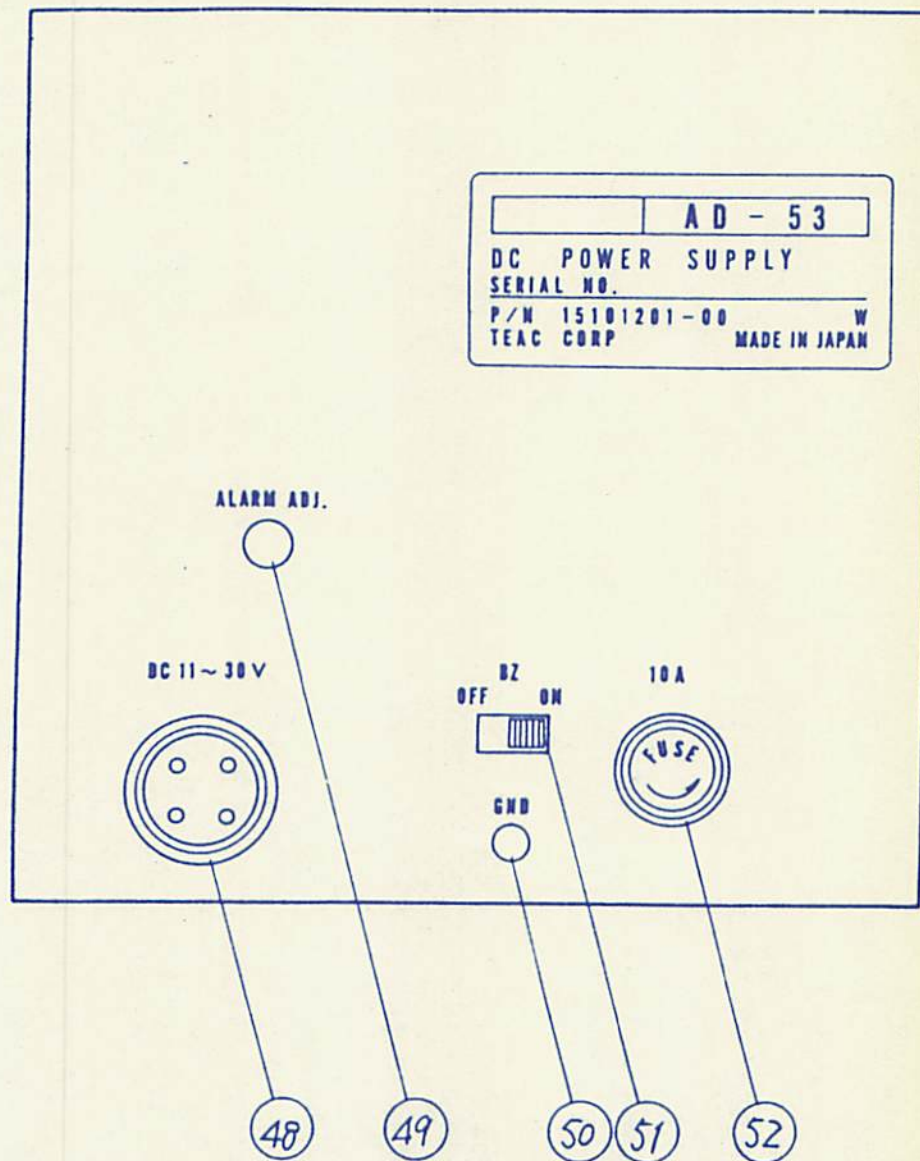


図 - 6 DC 電源部

REV.	
ECN.	
No.	
承認	..
検図	..
担当	..

ティアック株式会社

図面番号

A

17 頁

葉中

生 号	
生 番	

生 号	
生 番	

葉中

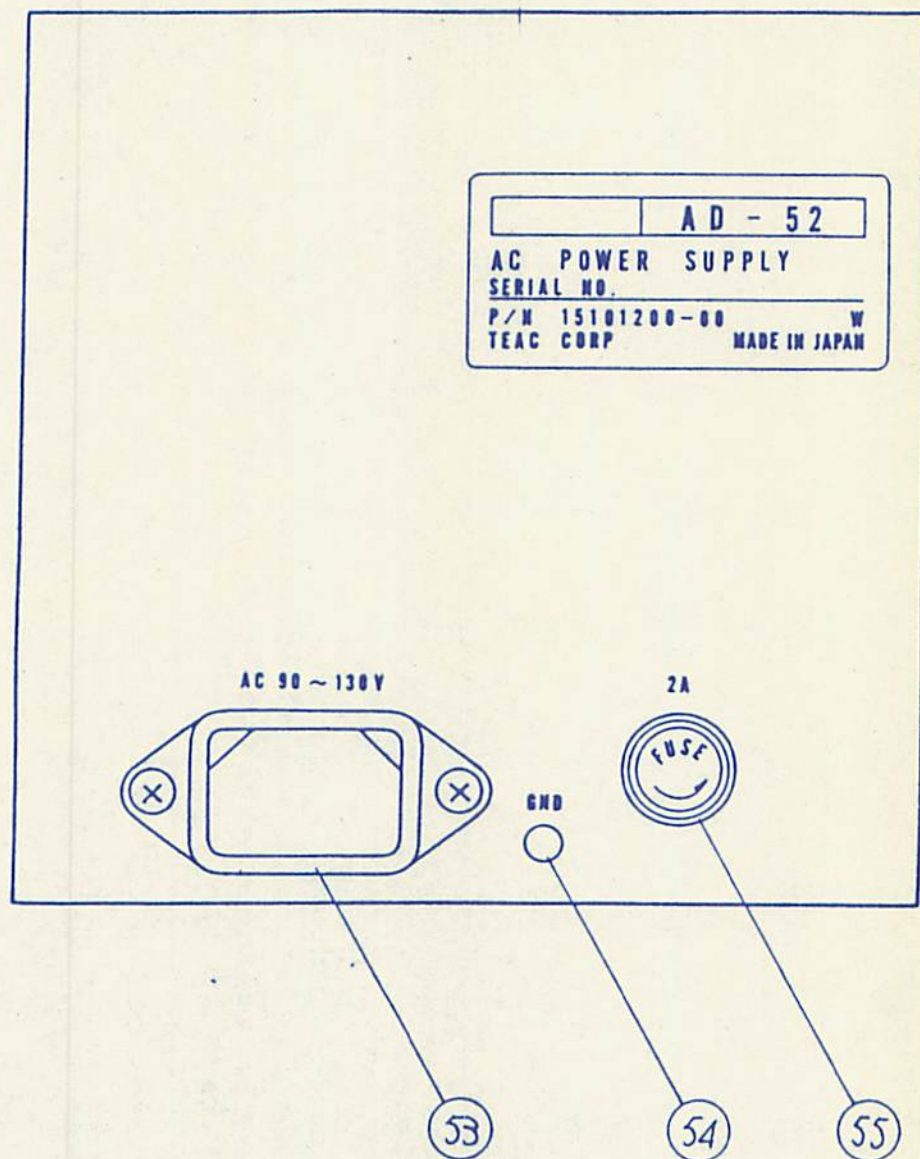


図 - 7 AC 電源ユニット

REV.	
ECN.	
承認	
検図	
担当	

ティアック株式会社

図面番号

A

19 頁

葉中

3-1-8 スピーカ及びリモートコネクタ (図-8)

名 称	形 式	機 能
56 スピーカ		磁気テープに記録された音声信号をモニターするスピーカです。
57 GP-IB		外部装置(パーソナル コンピュータ等)と GP-IB インターフェースを介して接続する場合のコネクタです。 注意) GP-IB インターフェースボードはオプションです。
58 REMOTE	DDK 24P コネクタ	ER-85 等のリモートコントロールユニット及び外部装置接続用入出力コネクタ端子です。

REV.

ECN.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

20 頁

葉中

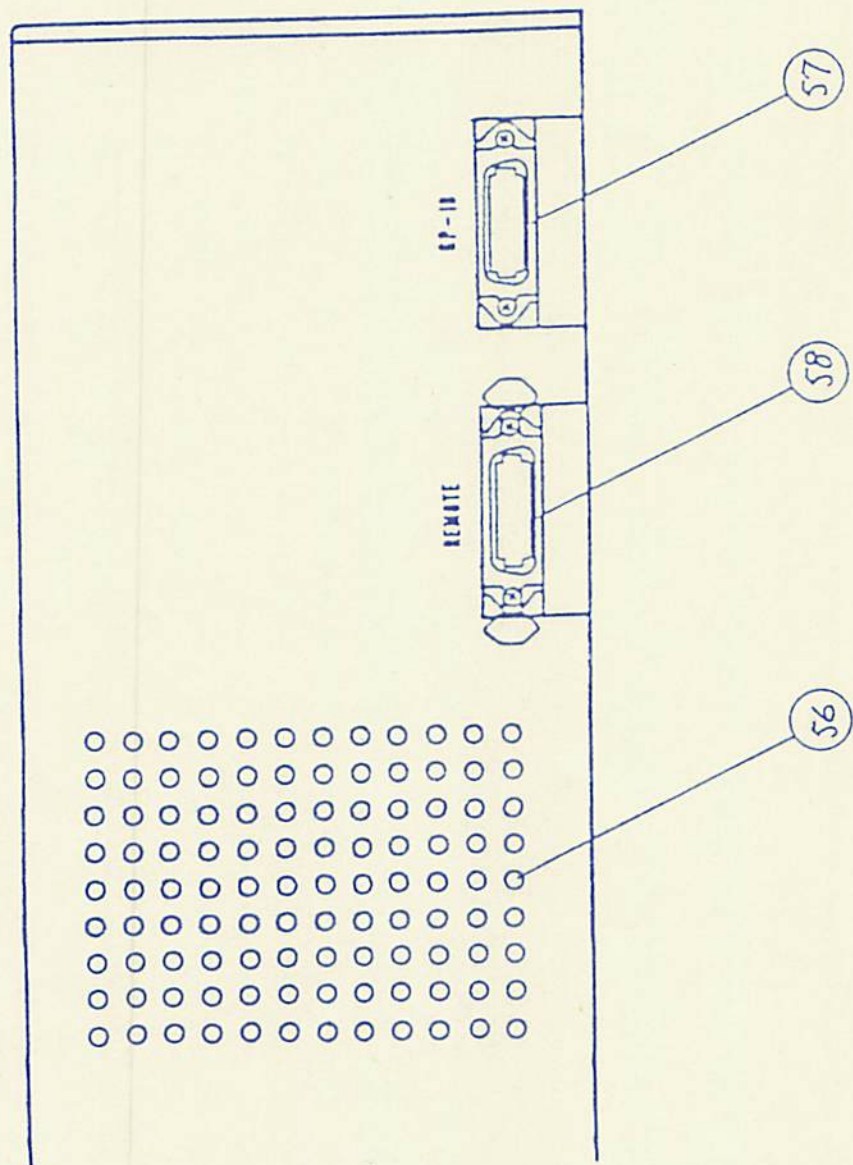


図 - 8 スピーカ及びリモートコネクタ -

REV.

ECN.

No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

21 頁

集中

校正電圧は、CALIBRATION電圧の選択（スイッチ ②① ～ ②④）を行った後、11)項の動作を行うことに依り記録できます。

3-6 データの再生

- 1) 記録・再生増巾器 ④⑦ OUTPUT BNCコネクタに、付属の出力ケーブルを使用してデータレコーダの出力信号を外部装置に接続します。
- 2) 希望のテープ速度を選択（スイッチ ⑩ ～ ⑮）します。
- 3) ⑮ ERASEスイッチをOFFに、⑮ SOURCE / OUT スwitchをSOURCE又はOUTに設定します。
- 4) 記録の時にメモ・アナウンス、ノイズ補償を記録した場合には ⑮ DATA / COMP、⑮ DATA / MEMO を夫々COMP、MEMOに設定します。
- 5) ⑤ FWD スwitchを押します。
- 6) 再生信号の零調整を ④④ ZERO ポテンショメータにて行います。
- 7) 出力レベルの調整を ④⑤ LEVEL ポテンショメータにて行います。

注) レベルメータにて出力レベルをモニターする場合には、④⑤ SOURCE / OUT スwitchをOUTにすることにより行えます。メータの表示は±100%位置にて出力±2Vになります。

- 8) 再生後希望の位置にて自動的に停止させたい場合には、④⑧ CNT STOP をONにし、④⑩ カウンタ設定スイッチで停止希望位置を設定することにより行うことができます。
- 9) 再生フィルタの位相補正スイッチ（FREQ/PHASE）

FM変調方式で矩形波のように非常に高い周波数成分を有する信号を記録すると、その再生出力は、復調時のキャリアフィルタによって、オーバーシュートやリングングの影響を受けます。

MR-10/30では、これらの過渡特性を補正し、入力波形に忠実な再生を行うことが出来るように考慮されています。

本スイッチは、FMアンプユニット基板上に実装されていますので、操作する場合は、

REV.
E.C.N.
No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

28 頁

葉中




 中 AAS1 CPI

必ず電源を“OFF”にしてFMアンプユニットを取りはずし(図-10)、必要なチャンネルについてスイッチを切換えて下さい。位相特性はスイッチを“FREQ”から“PHASE”に切換えることによって改善されます。

注) MR-10/30 は工場出荷時は FREQ 位置になっています。

入力信号

データレコード出力

位相補正後のデータレコード出力

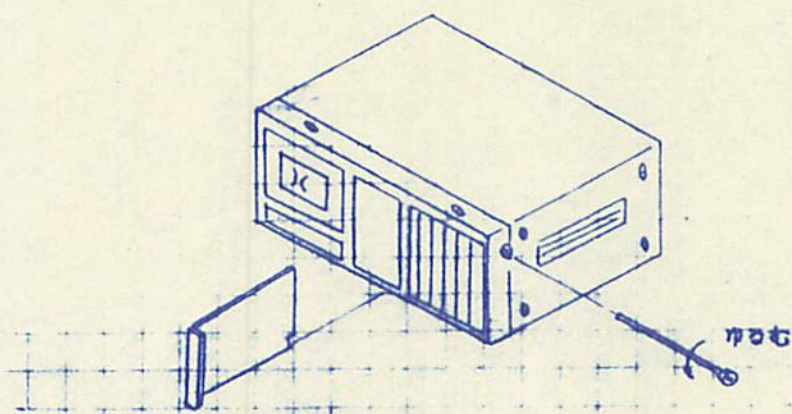


記録/再生 (FREQ)

(PHASE)



FREQ / PHASE スイッチ ロケーション図



(図-1)

正面の右側のネジを取り
除き、FM AMP UNIT を前
へ引き出す。

図-10 位相補正スイッチ

REV.

ECN

No.

承認

検図

担当

ティアック株式会社

図面番号

A

29 頁

業中